

教育機関向け遠隔授業・プログラミング教育支援に関する活用事例紹介

野田市立七光台小学校

活用事例の内容

○利用機器名

- ・ MESH アドバンスセット 5セット (MESH-100B7A)
- ・ MESH 専用充電クレードル 5セット

○機器の活用状況(活用授業,イベント概要など)

- ・ 5年生 総合的な学習の時間「みんなが幸せで笑顔の町づくりプロジェクト」
前期に福祉に関することを体験学習や校外学習で学び、そこから、どのような発信をすれば、自分達の町がより良くなっていくのかを探求していく。発表方法は Google workspace のスライドや動画, iPad を活用した MESH のプログラムから児童が選んで行った。

○機器活用による効果・利点

- ・ 実際にプログラムしたものが音を出したり, 光ったり, 動いたりしたことで, より実践的な発表が可能になった。

○活用イベント・授業における利用者及び,児童・生徒・学生の感想,雰囲気等

児童の感想

- ・ ポスターだけではなく, 言葉で伝えたり, 絵を書いてわかりやすくしたり, プログラミングを使って工夫して伝えるといいと思う。
- ・ プログラミングなどをして目の不自由なひとを助ける努力や, パラリンピックを知るためにたくさん調べることが大切だと思った

○ 写真



○機器活用における課題・難点

- ・所属自治体がクロームブック導入の自治体で、**MESH** ブリッジが無いと接続ができなかった。そのため、外部機関から **iPad** を借用しての活用となった。もし、追加で5セットの **MESH** ブリッジを貸与することができたら、今後さらに活用の幅が広がると感じた。また、モーターを動かす **GPIO** キットも同様に貸与セットに入っていると理科の実験にも活用の幅が広がると感じた。